

私の政策目標

☆市民が主役のまちづくり

市民の皆さんが主役となり、市民の皆さんが満足でき、夢と希望の持てるまちづくりを実現することで、高槻は『愛する我がまち』、『誇りと愛着の持てる故郷』となります。市民の皆さんとの対話を進め、市民みんなでまちづくりを目指します。

☆高槻の魅力を活かしたまちづくり

高槻には豊かな自然環境や、貴重な歴史遺跡が残されています。こうした地域資源を活かした魅力あるまちづくりを進めます。何よりも市民の皆さんが元気なことが高槻の魅力です。引き続き、自然と共生するまちづくり、歴史が息づくまちづくり、人が輝くまちづくりを目指します。

☆堅実・着実なまちづくり

一步一步確かな歩みで、時には大胆に改革に挑戦し、創意工夫を重ねながら、「子育て・教育・食育」、「安全・安心のまちづくり」、「都市機能の充実」を中心とした6つの重点政策を進めることで、市民の皆さんが安心して健やかに暮らせるまちづくりを目指します。

私の重点政策

1. 子育て・教育・食育

子どもは未来の高槻を担う大切な宝です。子ども達の瞳が輝くまちの実現に向けて、子育て・教育の充実に、市を挙げて取り組みます。

2. 安全・安心のまちづくり

市民の命を大切にするまちづくりは、自治体の重要な使命です。防災機能の向上、子どもの安全対策、まちの防犯対策に取り組みます。

3. 都市機能の充実

誰もが豊かで充実した高槻ライフを送ることができるように、交通環境の整備、にぎわうまちづくりに取り組みます。

4. 医療・福祉・高齢者

高齢者の方も、障害者の方も、誰もがみんな、健やかに暮らせるまちづくりに取り組みます。

5. 市民参加・市民協働

市民の皆さんと一緒にアイデアを出し合ったり、協働して課題を解決し合い、みんなで進める高槻のまちづくりに取り組みます。

6. 市政運営の改革

行財政改革の徹底的な実施、情報発信の充実により、信頼される行政、市民満足度の高い行政サービスを実現するとともに、次代を担う子どもたちに負担を残さないように、引き続き、健全な財政運営に取り組みます。

(参考)過去の重点政策における実績

【1. 子育て・教育・食育】

○子育て応援施設の整備

- ・子育て総合支援センター、つどいの広場の設置

○子育て応援事業の実施

- ・ファミリーサポートセンター事業
- ・子育て総合情報サイト「WAIWAIカフェ」の開設
- ・ブックスタート（赤ちゃんに絵本をプレゼント）の開始

○乳幼児医療費の助成制度の拡充

○英語教育の充実（小学校、中学校への英語指導員等の配置）

○学校施設の改善

- ・学校園の全教室へのエアコン設置、清潔なトイレへの改修

○私立幼稚園の保護者に対する補助制度の拡充

○生涯学習、スポーツ施設の整備

- ・図書館（阿武山、芝生）
- ・公民館（阿武山）
- ・市民プール（芝生）

○食育の推進

- ・食育フェアの開催、食育かるたの作成



「子育て総合支援センター」(愛称:カンガルーの森)
(19年4月オープン)



食育推進に大活躍「食育かるた」。子どもにも大人気！

(参考)過去の重点政策における実績

【2. 安全・安心のまちづくり】

- 特別救急隊（ドクターカー）の365日24時間運用
 - ・高槻方式（※）による最先端の救急救命体制の実現
 - ※医師が最初から救急車に同乗（救急ステーションから現場に直行）
- 北消防署磐手分署の開設
- 子どもの安全対策
 - ・小学校校門への警備員配置
 - ・全小学生への防犯ブザー配付
 - ・カメラ付きインターフォンの設置（幼・中）
- スーパー防犯灯の設置、市内犯罪の減少
- 学校体育館の耐震化
- 公共施設耐震化基金（20億円）の創設
- 清水池公園・芥川防災河川ステーションの整備促進



市民の命を365日24時間守るドクターカー



ひったくりにもこれで安心
（阪急高槻駅周辺に設置
されたスーパー防犯灯）

(参考)過去の重点政策における実績

【3. 都市機能の充実】

○玄関口の再開発

- ・ J R 高槻駅北地区の再開発の完了
- ・ 阪急上牧駅北地区の土地区画整理事業の完了

○道路の整備

- ・ 第二名神自動車道の促進（完成形設計協議）
- ・ 国道171号線の右折レーン設置（上牧・大畑交差点）
- ・ 府道十三高槻線の桧尾川までの完成

○職業相談所（国のハローワーク）の誘致

○産業の振興

- ・ 農林業振興ビジョン、産業振興ビジョンの策定

○企業誘致の推進（企業立地促進条例）

○環境アセス条例、ゴミ袋の透明化

○NPO・ボランティア団体と協働した豊かな自然環境の保全

○まちのシンボル芥川の自然再生・創生

○今城塚古墳などの歴史遺産の保存・整備

○葬祭センターの完成



整備が完了したJR高槻駅北地区



新しいまちづくりで整備された
市道・高槻北駅南芥川線



よみがえってきた芥川の自然
(芥川を遡上してきたアユ)

(参考)過去の重点政策における実績

【4. 医療・福祉・高齢者】

- 市保健所の設置
- 健康診断の充実
 - ・人間ドック助成、乳がん検診へのマンモグラフィ導入など
- けやきの森市民大学の開設
- 老人福祉センターの設置（芝生）
- 高齢者暮らしの相談センターの開設
- うの花療育園の創設
- 障害者自立支援に向けた市独自負担軽減策



熱心に学ぶ高齢者の方
(けやきの森市民大学)



たかつきまつり

【5. 市民参加、市民協働】

- 地域コミュニティ、NPO・ボランティアの活動拠点の整備
 - ・市民公益活動サポートセンター、コミュニティセンター
- 市長・市民のふれ合いトーク
- 職員出前講座の実施
- 公益的課題の市民協働による解決（協働活性化モデル事業の実施）
- 市民の皆さんによる一斉清掃活動（環境美化推進デーの実施）
- 市民イベントの応援
 - ・たかつきまつり、ジャズストリート、わくわくストリート、フリーマーケット など



ジャズストリート



子ども達の大型絵画が迎えてくれる
「わくわくストリート」

(参考)過去の重点政策における実績

【6. 行財政運営の改革】

○行財政改革の断行

- ・ 70億円の経費削減効果

○契約システムの透明性・公平性の確保（電子入札の導入など）

○府下トップレベルまでの健全財政の実現

- ・ 事業の選択と集中による実施などにより、23年連続黒字決算

○広報の充実

- ・ 市ホームページは、18年総務大臣賞
- ・ 全国初の「まんが版施政方針」の作成

○行政サービスコーナー

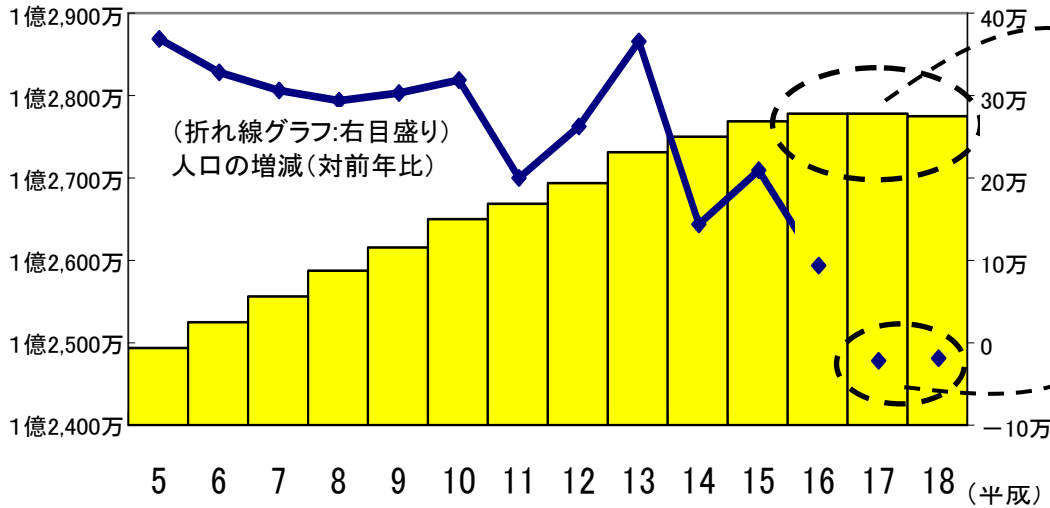
- ・ 新たな設置（阪急上牧駅、富田支所）
- ・ 取扱業務の拡充（土日における所得課税証明書、戸籍謄抄本の発行）



分かりやすく好評！18年度まんが版施政方針大綱

日本の総人口 (H5~H18年)

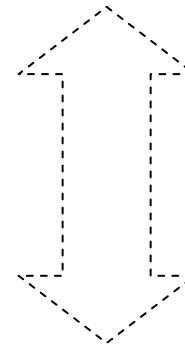
(単位:人)



■ 日本の総人口 ◆ 人口増減

◎日本全国でみると、
人口減少社会へ突入!
◎2年間で、約4万人の減少

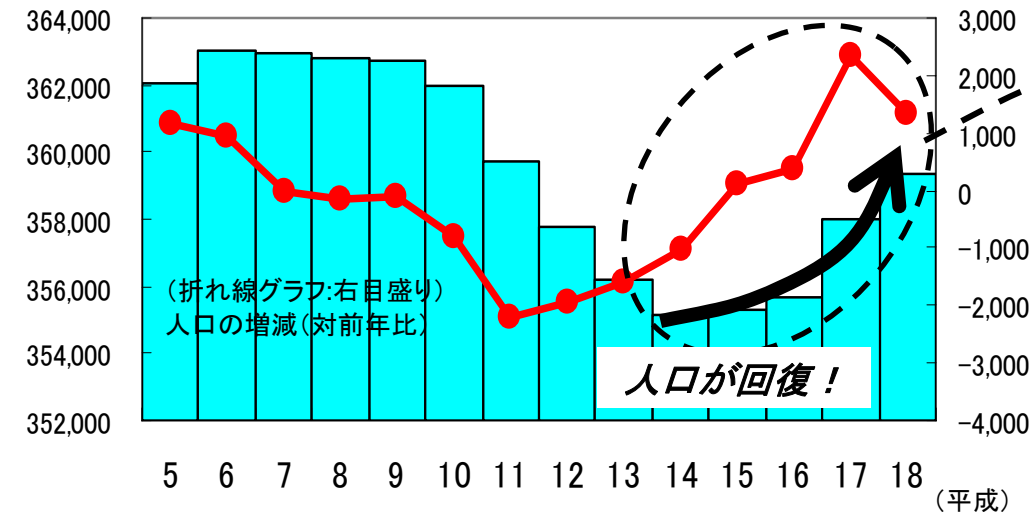
(平成16年) 1億2,779万人
(平成17年) 1億2,777万人
(平成18年) 1億2,775万人



高槻市の人口 (H5~H18年)

(単位:人)

(単位:人)



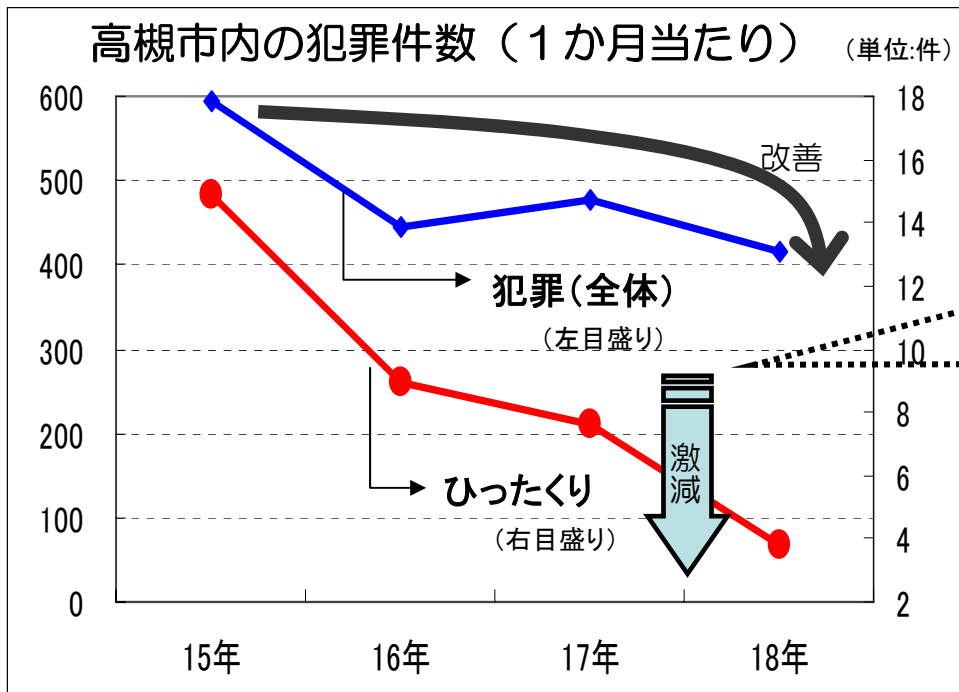
■ 高槻市の人口 ● 人口増減

◎高槻は発展を続け、
人口が回復・増加へ!

(平成14年) 35万5,100人

約4,200人の増加

(平成18年) 35万9,300人

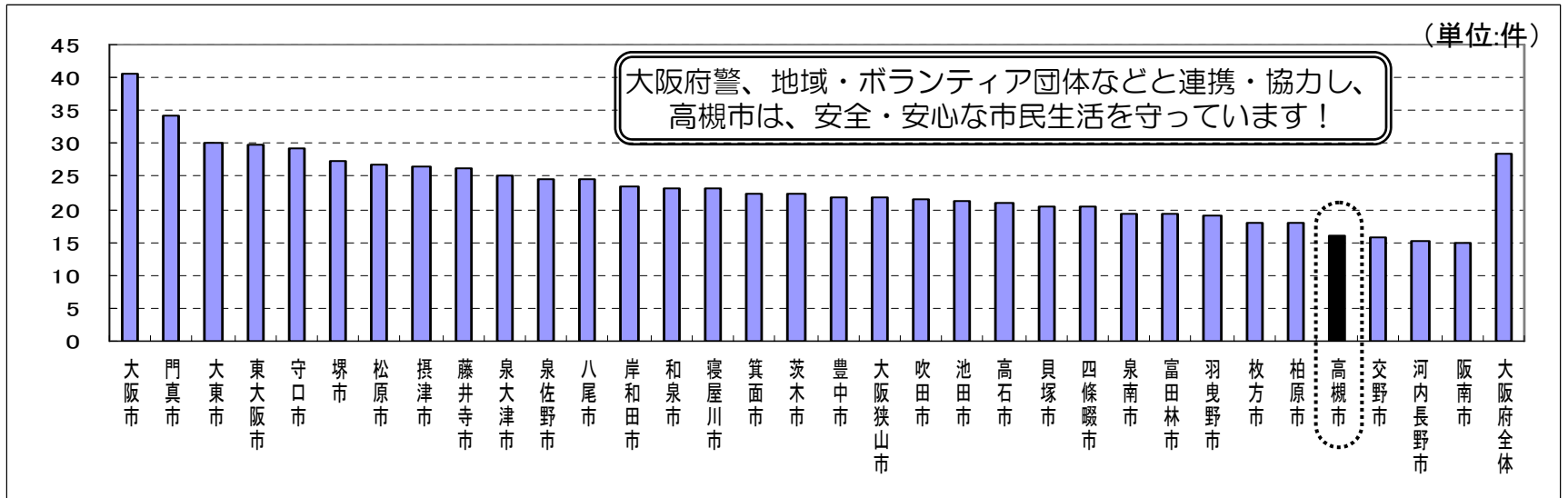


◎高槻の犯罪状況は改善！

◎特に、ひったくり件数が激減するなど、安全・安心のまちづくりは着実に進展！

(注)18年は、1月から10月までのもの

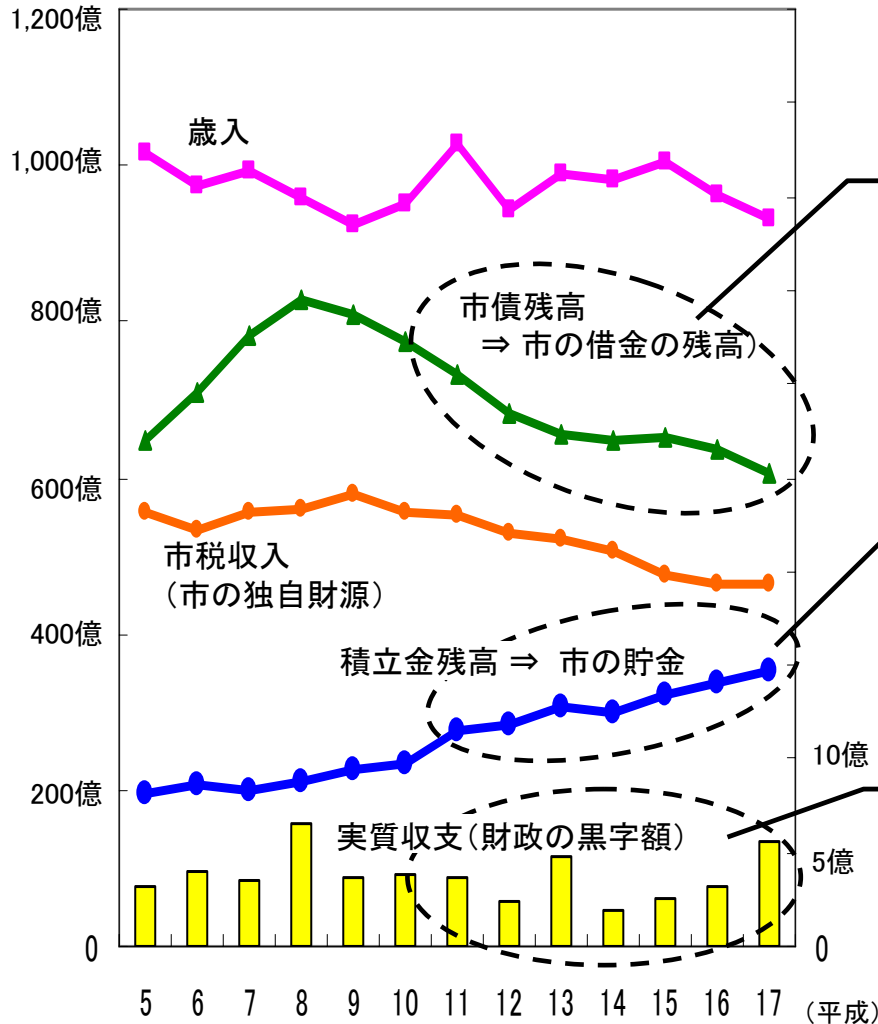
犯罪件数（人口1,000人当たり）（17年）



高槻の財政状況（H5～H17年度）

(単位:億円)

(単位:億円)



実質収支
 歳入
 市税収入
 市債残高
 積立金残高

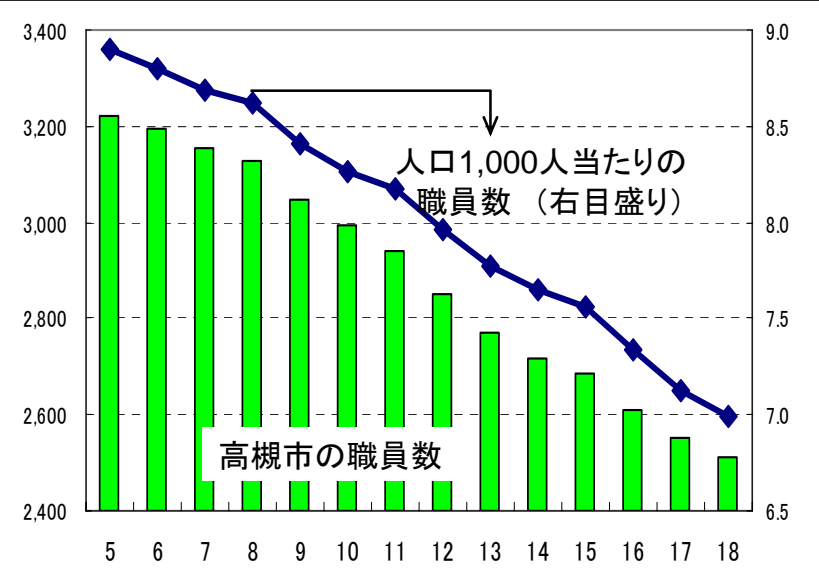
(注: 実質収支は、右目盛り)

◎将来の子ども達に負担を残さないよう、堅実な財政運営により、市の借金は減少!
 ★1人当たり借金の少なさ(17年度)
 ⇒ 府下トップ(32市中)

◎大規模災害や将来の出費に備えて、市の貯金を増加!
 ★1人当たりの貯金(17年度)
 ⇒ 府下4位(32市中)

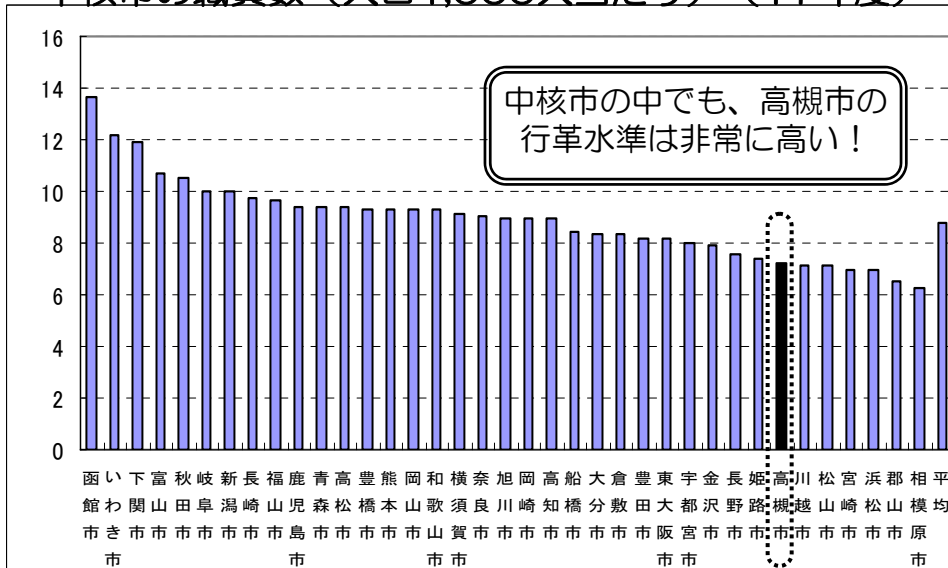
◎市税収入が落ち込み、財源が厳しいにもかかわらず、行財政改革や事業の選択などにより、毎年度黒字を継続し、財政の健全度は府下トップクラス!
 ★財政の健全度を示す経常収支比率(17年度)
 ⇒ 府下2位(32市中)

高槻の職員数（H5～H18年度）



都市規模が同じ自治体との比較

中核市の職員数（人口1,000人当たり）（17年度）



大阪府内の自治体との比較

大阪府下の市町村の職員数（人口1,000人当たり）（17年度）

